

322) 駐車違反

結果的に人をだますことになってしまった事件は実はもう一つあります。ある日の夜、マンションの前に止めておいた車がなくなりました。盗まれたのか、それとも警察に持っていかれてしまったのか分からない。どちらにしろ届けるべきところは警察である。110番をすると、警察署が駐車違反でお預かりしていると言うのである。ナンで一、だったらちゃんと分かるように書いておいてくれればいいのに。夜10時頃、警察に行って、そのことについて大いに文句を言うと、「そんな筈はないと思いますけどねー」と首を傾げていたが、ナンも書いてないのだから、「だったら一緒に見に行きましょうか」というと、「イヤー、今日はもうみんな帰ってしまって、私が当直で、そうもしてもらえないんだよ。」という。「まあ、そういうことじゃしょうがないから、駐車違反の罰金と、反則切符は切らないから、駐車場の保管料だけ払ってください。」ということになって、小生もこの取り引きで手を打つことにした。それから駐車場に行って車を出して、マンションまで戻ってみると、何と我輩の車のナンバーが道路上にでっかくチョークで書いてあるではないか。アリア、何と不思議なことか？と思っけてよくよく思い出してみると、先ほどまでは、そこにはでかいトラックが止まっていた。その下になって駐車違反のチョークはすっかり隠れて見えなかったのである。トラック様様ってところでありやしたが、警察に見つかったらこいつは詐欺罪で逮捕もんでございやした。ハイ。